

シグマ研究委員会核データ専門部会  
ガンマ線生成核データ W. G. 昭和 57 年度第 5 回会合議事録

日 時 昭和 57 年 10 月 29 日 (金) 13:30 ~ 17:30  
場 所 原研本部第 6 会議室  
出席者 水本, 浅見 (哲), 五十嵐 (原研), 肥田, 川合 (将) (NAIG)  
播磨, 井頭, 北沢 (東工大)

配布資料:

- (1) JENDL に含まれている核種の表 (浅見)
- (2) JAERI NDC で利用できる Nuclear Model Codes (五十嵐)
- (3)  $^{27}\text{Al}$ ,  $^{56}\text{Fe}$ ,  $^{59}\text{Co}$  の粒子放出断面積 (播磨)
- (4)  $^{56}\text{Fe}$  ( $n_{th}$ ,  $\gamma$ ) ガンマ線スペクトルの解析 (井頭)
- (5) CASTHY の修正に関するメモ (水本)
- (6)  $^{93}\text{Nb}$  Capture Gamma-Ray Spectrum の計算 (川合)
- (7) NGOGI Code について (川合)

I 作業経過報告

- (1)  $^{27}\text{Al}$ ,  $^{56}\text{Fe}$ ,  $^{59}\text{Co}$  からの粒子放出断面積を NGOGI を用いて計算し, 前平衡過程の計算に使用する  $K_n$ ,  $K_p$  の値を調べた。(播磨)
- (2) CASTHY コードの結果では, エネルギーが保存されていなかったが, これは競争チャンネルとして含めた中性子放出チャンネルの neutron Kinetic energy を差引いていたため, これを修正することによってエネルギー保存が始んど成立するようになった。(水本)
- (3) CASTHY コードを用いて  $^{93}\text{Nb}$  の capture gamma-ray spectrum を計算した。Rasmussen et al. の実験データ (discrete  $\gamma$ -ray, thermal capture) と計算値の一致は不良。(川合)

- (4) GROGI コードに前平衡過程を含めた最新版 NGROGI についての説明。  
(川合)
- (5)  $^{56}\text{Fe}$  ( $n_{\text{th}}, r$ ) からのガンマ線スペクトルを CASTHY を用いて解析した。この場合は統計模型による計算では無理だ。(井頭)